

12 月 17 日：週末の VN 指数はプラス圏を維持

週末の VN 指数はプラス圏を維持した。V.N.M ETF、FTSE ETF の 2 つの ETF で銘柄入れ替えが行われ、VN 指数は ATC セッションで下げた。しかし主力銘柄は引き続き堅調だった。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.22% 高の 1,479.79 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.08% 高の 1,476.61 ポイントで引けていた。

売り買いは拮抗し、217 銘柄が上昇、227 銘柄が下落した。

出来高は前日比で増加し、売買高は 110 万株で、売買代金は 34 兆 5,000 億ドン（15 億米ドル）となった。

VN30 指数は 0.22% 高の 1,513.56 ポイントだった。

同指数採用銘柄のうち、15 銘柄が上昇、13 銘柄が下落した。

なかでもカンディエン不動産は 4% 高と上昇率でトップとなった。SSI 証券（SSI）も 3% を超える上昇。ビンググループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）、ビンコムリテール（VRE）は全て 2% 以上値上がりした。

その一方でベトコムバンク（VCB）、ファットダット不動産開発（PDR）はそれぞれ 2% を超える下落となった。

証券銘柄は堅調で、なかでも SSI 証券（SSI）、VN ダイレクト証券（VND）、ビナキャピタル（VCI）、サイゴンハノイ証券（SHS）、ホーチミン市証券（HCM）の上昇が目立った。またエベレスト証券（EVS）、ティエンベト証券（TVS）は +7% とストップ高をつけた。

農林水産銘柄はこの日、軟調だった。その中でもホアン・アイン・ザライ国際農業（HNG）、ホアン・アイン・ザライ（HAG）は大引けにストップ安をつけた。

セクター別では全 25 業種のうち、小売、不動産、水産加工、証券、保険、情報技術を含む 14 業種が売られた。

その一方で、値下がり業種には卸売、ヘルスケア、石油ガス、銀行、ゴム製品、農業、食品飲料、建設、建設資材、物流が含まれた。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.18% 安の 456.20 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日 0.73% 高の 457.03 ポイントで引けていた。

売買高は 1 億 4,020 万株で、売買代金は 3 兆 8,000 億ドンを超えた。

ディスクレーマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。